

## Information

### 第22回新入社員ボランティア入門講座合同研修会

YMCAフィランソロビー協会では、自立生活センターヒューマンネットワーク熊本との共催で、「第22回新入社員ボランティア入門講座」を開催します。



本講座は、実際に車いすで生活を送る障がいのあるNPO職員を講師として行われるプログラムです。1996年の開始以来21回の実施を経て、例年好評を得ています。日常、あまり経験することのない食事介助や車いす体験を通じて、「自分とは違う立場に立って見たり考えたりする」ことは、より高い対人能力が要求される今後の社会人生活において、必ずやプラスになるものと考えます。

新年度の新入社員研修の一環として、ご参加ください。

- 日 時：2017年4月3日（月）・5日（水） ※いずれかお選びください。  
12:00~14:30 ○昼食の時間を含みます。
- 参加費：1人2,000円（会員企業）、2,500円（非会員企業）  
○講習料、昼食代を含みます。
- 対 象：新入社員あるいは入社2・3年目の社員 ※一人から参加可能です。  
(ホームページ) <http://www.kumamoto-ymca.or.jp/philanthropy/50.html>

### TOPIC

チョコレートの原料であるカカオ豆が  
つくられる産地では、仲介業者の買い叩  
きにより、多くの農家が貧困に苦しんで  
います。フェアトレードは、お買い物で  
社会に役立つ仕組み。あなたの選択が、  
世界で苦しむ人々を助けます。冬限定、  
こだわりのフェアトレード・チョコレート  
をこの機会にぜひご賞味ください。



フィランソロビー チョコ

昨年は、熊本にとって試練の年でした。地震による被害が特に大きかった益城町と御船町で、YMCAは10月末まで避難所を運営。現在はそれぞれの町で地域支え合いセンターを運営し、阿蘇YMCA災害ボランティアセンターを継続するなど、被災された方々のサポートを続けています。

熊本はまだ復興途上。2017年も困難の中にある人々と共に歩み、希望の見出せる一年となりますよう願っています。

### 会員企業



税理士法人 近代経営

熊本トヨタ自動車

熊本日日新聞

熊本銀行

RKK熊本放送

城野印刷所

肥後銀行

RICOH リコージャパン株式会社

医療法人社団愛育会 福田病院  
株式会社エフエム熊本  
株式会社紙弘  
亀井通産株式会社  
株式会社亀井ランテ  
九州産業交通ホールディングス株式会社  
九州電力株式会社熊本支社  
九州労働金庫熊本県支部  
近畿日本ツーリスト株式会社  
熊本朝日放送株式会社  
株式会社熊本県民テレビ  
株式会社熊本製綿所  
熊本第一信用金庫  
熊本電気鉄道株式会社  
熊本ヤクルト株式会社  
コカ・コーラウエストベンディング株式会社  
株式会社スーブル  
合資会社高田商会  
中央印刷紙工株式会社  
株式会社テレビ熊本  
東光石油株式会社  
西日本電材株式会社  
日立キャピタルオートリース株式会社九州支店  
富士ゼロックス熊本株式会社  
有限会社うしん

(34社 2017年1月現在)

# Philanthropy Newsletter



No.71  
2017

企業と人の社会貢献

YMCAフィランソロビー協会  
<http://www.kumamoto-ymca.or.jp/philanthropy/>

## 装い新たにチャリティーラン



YMCA チャリティーランにランナー、ボランティア、観客1200人が大集結

### CONTENTS

2017年度総会・防災シンポジウム  
第1回 YMCA チャリティーラン

フィランソロビーとは、ギリシャ語の「人間愛」という言葉に由来し、人間愛にあふれる社会を目指す、企業の社会貢献活動を表す言葉として用いられています。  
YMCAフィランソロビー協会は1995年10月に設立。熊本県内における企業の社会貢献活動とボランティア活動を推進し、2015年に20周年を迎えました。

YMCA Philanthropic Association

## Philanthropy Newsletter



YMCAフィランソロビー協会 事務局：公益財団法人熊本YMCA  
〒860-8739 熊本市中央区新町1-3-8  
TEL 096-353-6397 FAX 096-324-7877  
E-mail: [ymca.philanthropy@gmail.com](mailto:ymca.philanthropy@gmail.com)  
<http://www.kumamoto-ymca.or.jp/philanthropy/>

ニュースレター No.71

編集：YMCAフィランソロビー協会事務局  
印刷：株式会社城野印刷所  
発行：2017年1月



企業と人の社会貢献

年次総会 開催 「災害対応と地域復興」考えるシンポ



企業にできることは何か。 未来のあるべき姿へ向けて

2016年10月21日(金)、YMCA フィランソロピー協会の2017年度総会が熊本市現代美術館アートロフトで開かれました。会員企業のうち17社が出席のもと、決算報告や新年度の運営方針・予算案、規約改定などの議案を承認。月例の幹事会では、中期計画「フィランソロピービジョン2020」の策定に向け、協議が進んでいることも報告されました。

続いて開催された防災シンポジウムでは、「熊本地震から考える 企業の災害対応と地域の復興」をテーマに、避難所運営に携わったYMCA、被災の中で病院等へ食事の提供を続けた亀井ランチ、県内各地の支援活動をサポートする熊本県ボランティアセンターの三者がそれぞれの活動について報告。出席者はその後、グループに分かれ意見交換を行いました。

各グループでは発災後の各社の様子や対応などを共有しながら、備えの必要性や今後の連携などについてディスカッション。4月に起きた震災を振り返り、企業にできることは何か、地域において企業が果たす役割とは何かを考えました。

まだ何も終わっていない。 被災地の課題と対応

熊本YMCAで災害対策本部の一員として発災直後の後方支援や益城町総合体育館の避難所運営にあたった秋吉光輝さんは、公費解体の遅れや自宅の修繕が完了せずに行き場がないといった被災者を取り巻く課題を挙げながら、「不安をできるだけ取り除き、新しい生活へ向けて希望ある未来をイメージできるような支援が必要。まだ何も終わっていない」と強調。

会員企業亀井ランチの代表取締役・亀井明徳さんは「幸運にも炊飯機が無事だった。資材や食料が底をつかないよう取引先や同業社に頼み込んで、おにぎりを作り続けた。あるのは使命感のみ。社員の不眠不休の協力、その家族の応援があったからこそできたこと」と話しました。

また、熊本県ボランティアセンター所長の桂誠一さんは、災害ボランティアセンターの動きや発災後の動きを紹介し、「それぞれに得意なことや好きなことがあるように、会社にも得意分野があるはず。被災者も同じ住民。地元企業には、できるだけ長期間、継続した活動を行ってほしい」と呼びかけました。



第1回 インターナショナル・チャリティーラン

楽しく走って社会貢献 ファンラン・イベント開催

2016年12月18日(日)、熊本県農業公園カントリーパークで、熊本で第1回目となる「熊本YMCAインターナショナル・チャリティーラン」が開催されました。

昨年までのチャリティブチ駅伝大会を継承する「グループラン」には、YMCA フィランソロピー協会の会員企業を含む60チーム総勢300人が参加し、宣言タイムとの差を競いました。

YMCA インターナショナル・チャリティーランは障がいのある子どもたちもそうでない子どもたちも共に幸せに生きていける社会をめざし開催される大会です。1987年に初めてのチャリティーランが東京で開催されて以来、これまでに4億9,200万円以上の寄付が寄せられ、その全額が全国で展開されるYMCAの障がい児プログラムに充当されました。



グループランの全記録を掲載した大会結果はこちらから



- グループラン結果(一部)
- 【3位】アールジェイエムエーリコージャパン 35分00秒 35分17秒 17秒
  - 【6位】X smile 富士ゼロックス熊本 32分00秒 31分20秒 40秒
  - 【19位】bank of minion 熊本第一信用金庫 27分55秒 28分45秒 1分40秒
  - 【21位】くまぎんGO 熊本銀行 26分00秒 24分00秒 2分00秒
  - 【28位】君の名は。"ユーモです!!" 熊本銀行 35分21秒 32分35秒 2分46秒
  - 【30位】NANJO を探せ 熊本第一信用金庫 33分00秒 29分34秒 3分25秒
  - 【37位】青連協 HAPPY 肥後銀行 25分00秒 30分23秒 5分23秒
  - 【42位】青連協 LUCKY 肥後銀行 25分00秒 30分40秒 5分40秒
  - 【57位】進撃のミトマ 熊本第一信用金庫 42分52秒 31分20秒 11分32秒
  - 【58位】日本昔ばなしチーム 福田病院 45分45秒 32分26秒 13分19秒

◀見事コスチューム賞に輝いた福田病院・日本昔ばなしチーム